

ゆたかの飛耳長目(第5回)要旨

日時	令和4年9月20日(火)14時30分～
場所	安曇野市役所3階 理事者側控室
テーマ	①観光景観②IT 促進③休耕田活用④野外保育の充実
参加者	市民の皆さん 5人

●観光景観

(参加者)電線の配線の地中化について調べてみると、明科駅前には着手していて、それ以外にグリーンガーデン穂高はもう完了している。長野県全体でも遅れていますが、観光地の割には近場の大王わさび農場の辺りは120万人のお客さんが来る場所だが、電信柱が出ていて非常にかっこ悪いとよく友達と話しています。あれを全部とは言わないが、部分的に観光名所の部分を地中化する計画を立てられてはどうでしょうか。

(市長)電線地中化は、費用のことを別にすればほとんどの方が賛成でしょう。特に写真撮る方からは、山を撮るのに電線が写ってしまって困るとよく言われます。1キロ3億5000万から5億円と言われていますが、費用負担としては国が3分の1、道路管理者が3分の1、そして電線持っている電気事業者かNTTに3分の1の負担を求めています。よって中部電力さんとNTTさんの協力が得られないと難しい状況です。今のご提案のように、安曇野の観光地の中でも特に「電線がなければこんなに素晴らしい」というところを選べば話はできると思いますので、考えていけたらと思います。

(参加者)次に、里山の整備活用ということで、長峰山と天平の森の施設活用についてです。私は長峰山によく登るのですが、安曇野の自然を一望でき、松本平の広いところから北アルプス、川の合流まで本当に一目でわかるスポットだと思っています。安曇野を知ろうとしたときに、長峰山を知っている方はほとんどいないと思います。そこで、ホームページ等でまずは広く知らせて、皆さんに知っていただけるような方法がないのかなと思っています。そのことによって、安曇野の良さを非常によく知っていただけるのではないかと思います。また山頂には東山魁夷の碑がありますが、あの場所では読みにくくてわからないので、近くに説明看板を設置したらどうかと考えました。また、天平の森の施設・オートキャンプ場もやっぱりあまり知られておらず、利用度が低いと思います。私は非常に感激したのですが、秋は早朝の雲海が素晴らしい。そんなことも広報していただければ、お客様がたくさんいらっしゃるんじゃないかと思います。

(市長)おっしゃる通りですね。今年、柔道家の篠原さんへの移住大使の任命式を長峰山でやり

ました。いつもは記者会見という市役所本庁舎でやるのですが、それではつまらないということで、長峰山の山頂でやりました。東山魁夷さんと井上靖さんとそれから川端康成さんの3巨頭が昭和45年に安曇野にお見えになった本当にいいところなので。あそこにハングライダーとかパラグライダーの施設もありますが、若干老朽化しているところがあるので、これは直します。今、過疎計画を作っていますが、天平の森周辺の整備も入れます。というのも、施設が若干古くなっていることは大きいし、一番困っているのは上がっていく道が冬は使えないこと。アクセスは非常に大きな問題です。もう一つは、三郷の室山から見る東側の景観もすごいですね。あそこまで行くと松本の方がずっと見えるので、ものすごく広い景色がパノラマで見られる。この東と西を鳥瞰する絵っていうのをセットでぜひPRしたいと思っています。そのためにはさっき言った過疎計画の中に、ハード面で長峰山でどういうことができるかを考えたいと思っています。それともっと大きな構想でいくと、東山トレッキング、トレイルっていう名前がついている、松本のアルプス公園あたりから池田の方まで抜けるという、そういうコースが構想としてはあるので、少し生かしたいと思っています。

(参加者)今話を聞いて、まさに、自転車も押野山から池田の方までずっと登れるところがあるので、開通したら歩いて行ってもいいし、マウンテンバイクでもいいし、素晴らしい。よろしくをお願いします。あと、市の3つのサイクリングコースの件ですが、2年前に道路にマーキングされ始めて、ほとんどできていると思っていたら、C区間はできてないそうですね。案内なんかも全然ないうちに、どんどん案内表示が消えかかってきてしまっているのが、非常にもったいない。ぜひ途中であっても、広報できるようなことができないかということと、アプリなどを活用してルートを説明したり、近くのレストランなどを紹介したりできるといいと思います。

(市長)おっしゃる通りです。それは大事ですね。

(参加者)これは、アプリを使うことによって非常に簡単にできると思います。

(市長)滋賀県が「ビワイチ」という琵琶湖1周の自転車コースをやっていて、私も地図もらったのですが、結構大きな地図で、コンビニがどこにあって、トイレがどこにあって、パン屋さんがどこにあるとかが全部入っている。やっぱりただ自転車走らせるだけじゃなくて、途中で休んだり、楽しんだり、そういうのがないと魅力が増さないですよ。

(参加者)それでお店を紹介していただくのと同時に、その方たちにスポンサーになっていただけるんじゃないかと思っています。

●IT促進

(参加者)農地を借りるときに、農業委員会に行きまして資料貰ったんですが、手書きなんですよ。まだ手書きなんだと思ってびっくりしました。

(市長)これパソコンでできないの？

(参加者)できます。ただ、農業に関するものは手書きの報告が多いと思います。年配の人はなかなかパソコンが使えないからか、物事が進まない。であれば、市にブースを設けて、指導するなりしていかないと何も変わらない。

(市長)これはいいね。今マイナンバーカードも、来てくれれば手続きを全部市の職員が代行してやるようになっています。電子申請お助け人みたいな人をつければいいということですね。

(参加者)分からないって放っておくと、ずっとわからない。だからある程度、教えてあげても電子化を進めてほしい。

(市長)大事なところですよ。いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)をやろうとしていますが、リテラシーの問題があるので、システムはできてもそれを実際にソフトに入力したり、活用したりするときになると突然ギャップが生じる。今いいアイデアいただいたので、電子専用相談ブースは考えます。

(参加者)あと、(市役所の)Wi-Fiの使い勝手がちょっと悪いですね。今日初めてメールアドレス入れて登録して、Wi-Fi使えるようになったのですが、1階で使えたのに上の階に行くと使えない。利便性が悪い。

(市長)私もこのフロアで使えないっていうのは、初めて知りました。

(参加者)さっきの窓口(での電子申請)というようなことをやったとき、いらっしゃる市民の方が窓口でも使えればと思います。

(市長)電子専用相談ブースと併せて考えてみます。

●休耕田活用

(参加者)ワサビ田の所有使用状況を把握して活用検討を、ということを考えています。ワサビ農家の人も高齢化で、後継者がいなくなってくるので、そういうワサビ田を活用して、ワサビに限らずいろんなワサビ田でできる野菜などを育ててくれるような人が欲しいです。聞くところによると、ある方の息子さんは福島へ就職されて、桃の栽培農家のところへ行き、ある程度県や市でお金をだしてくれて、そこで斡旋された住まいに入居し働いている。そういうような形で、ワサビ田とか休耕田を活用して農業に取り組んでくれる人が現れてくれれば嬉しいです。

(市長)そうですね。特にワサビは安曇野の特産ですしね。

(参加者)ワサビを継続するために、若者たちがもうちょっと来てほしい。要するに全然応募もないし、魅力を感じてない部分が非常に多いので、市としても休耕地を斡旋するためにも、ぜひ調整役をしてアピールしたらいかがでしょうか。

(参加者)ワサビは安曇野の特産として県の推奨にも入っていますし、そんな中で生産者がいなく

なってしまうと、せっかくの宝物のワサビがなくなってしまう。例えば、穂高インゲンは今年度の推奨から消えてしまった。そういうことのないように、安曇野の特産として、ワサビの生産者もそうですし、持続できるような形のシステムをぜひ検討していただきたい。

(市長)そこは、ワサビ組合の方や生産者の方たちのお力をお借りしながら、まずは現状を把握したいと思います。

●野外保育の充実

(参加者)野外保育の充実についてということで、明科北保育園では、業務委託として「くじら雲」が請け負っているのですが、市のホームページ開きますと、安曇野市では自然保育を推進していますって表示されます。ですが、この保育園はどこにあるのか、非常に分かりにくい状況にある。

(市長)それはすぐ改善しますね。

(参加者)いわゆる週 15 時間以上の屋外での体験活動を行う特化型は 10 数か所程度しか長野県にない。それをもっと安曇野市としての、充実した形で広報できればいい。野外保育の場所に入園させる親御さんっていうのは、移住者の人が結構多いです。軽井沢などの成功例を見ても、それを目当てに移住者が来るという例も結構あるようなんです。明科の長峰山を利用しながらの保育ができるなど、非常にいいところがあるわけですから、ぜひ充実させていただきたい。

(参加者)それと野外保育ができる後継者の養成も重要なんじゃないかと思しますので、ぜひ市の方でお願いしたい。

(市長)私はそれぞれの園が自分たちの考えでやるべきじゃないかと思えます。あんまり行政が介入して、これをやりなさい、あれをやりなさいとやるのは、そもそも自然保育の自由な雰囲気と違うような気がするんです。

(参加者)おっしゃる通りだと思いますが、だからこそ、明科北保育園みたいところでやっている保育が充実すれば、自然に真似することができてくる。そういう意味で、後継者が行きたいと思うような場所に育ってもらえればと思います。

(市長)いま保育士さんがどのような(研修)をされているか分からないので、確認してみますね。

(参加者)よろしく申し上げます。